

施工者様へ・・・抵抗器ご使用のお願い



抵抗器（センサー付属品）

屋外用スポットライト（LED電球ビーム球形150Wクラス）をセンサーに取り付ける場合は、必ずセンサーに付属している抵抗器をご使用ください。

※上記ランプは、ランプ切れ時に大きな電流が発生するため、抵抗器を使用しないとセンサーが破損するおそれがあります。

※上記以外のランプは、センサーを破損する程の電流が発生しないため、抵抗器は不要です。

■抵抗器のご使用方法

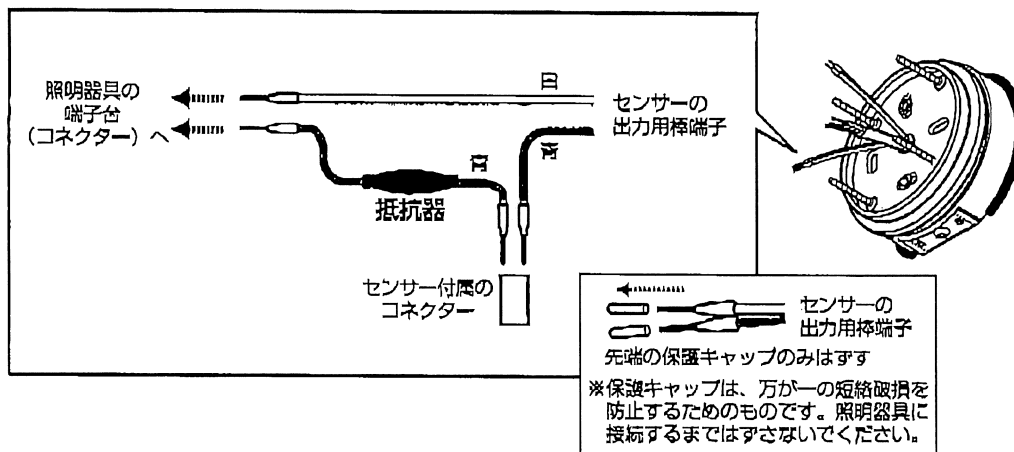


①センサーを壁に取り付けます。（参照）センサーの施工・取扱説明書 **センサーの取付方法**

②照明器具のバッキンと取付金具をセンサーに取り付けます。
（参照）センサーの施工・取扱説明書 **照明器具の取付方法**

③抵抗器をセンサーに取り付けてから、センサーと照明器具を接続します。

※ご注意 抵抗器はセンサーの棒端子を照明器具内に通すまで取り付けないでください。
先に取り付けると照明器具内に通すことができません。



④センサーと電源線を接続します。（参照）センサーの施工・取扱説明書 **電源の接続方法** センサーと電源線の接続

お客様へ：このたびはオーデリック照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。取扱説明書は保管してください。

防雨形

ベース型人感センサー
ON/OFF型

製品型番 OA 075 782

この製品の取り付けには電気工事士の資格が必要です。
取り付けは販売店・工事店にご依頼ください。

施工者様へ：施工後、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。



1 安全上のご注意：必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するため、内容をよくご確認ください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



分解禁止

器具を改造したり、部品交換をしたりしない
火災、感電、落下の原因になります。



必ず実施する

重量に耐えるところに確実に取り付け
落下によるけがの原因になります。



必ず実施する

指定以外の方向で取り付けると火災、感電、けがの原因になります。



浴室禁止

浴室等の湿気の多いところでは使用しない
火災、感電の原因になります。



禁止

器具の隙間や放熱穴にものを差し込まない
火災、感電の原因になります。

取り付けは取扱説明書にしたがい確実に
不完全な取り付けは、火災、感電、けがの原因になります。

電源接続は取扱説明書にしたがい確実に
接続不良による火災の原因になります。

お手入れの際には電源を切る
感電の原因になります。

異常を感じた場合は速やかに電源を切る
異常状態がおさまったことを確認し、販売店または工事店にご相談ください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽症を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。



禁止

腐食性ガス・粉じんの影響を受ける場所、振動の多い場所では使用しない
損傷、過熱、火災、感電、落下の原因になります。



禁止

温度の高くなるものを器具の真下に置かない
故障、火災の原因になります。



スプレーがけ
水洗い禁止

水洗いしたり、スプレー式洗剤をかけたりしない
故障、感電、火災の原因になります。



必ず実施する

表示された電源電圧で使用する
火災、感電の原因になります。

電源工事は必ず販売店・工事店（有資格者）に依頼する
一般の方の電源工事は禁止されています。

定期的に清掃、点検をする
不具合を発見した場合は使用を中止し、販売店・工事店に修理を依頼してください。

2 設置場所の確認：取付前にご確認ください



警告 必ず以下の設置条件をお守りください。

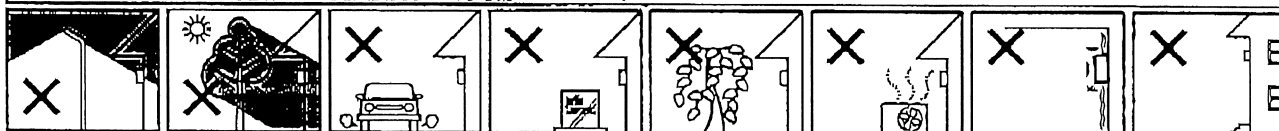


浴室等の湿気の多いところではご使用できません。
火災、感電の原因になります。



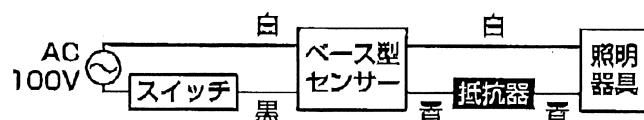
壁面以外にはご使用できません。
防水性が損なわれたり誤動作の原因になります。

以下の場所に取り付けると誤動作の原因となります。



夜間でも明るい場所 昼間でも暗い場所 通りに面し、車や 障害物が感知エ リアをさえぎる 場所 樹木など風でよ くゆれるものが ある場所 急激な温度変化 のある場所 器具がゆれる場所 取付高さが3m を超える場所
照明が点灯しない 夕方の早い時間 から朝の遅い時 間まで照明が点 灯することがあ ります。 通行人や車にセ ンサーが反応し てしまいます。 (透明なガラス やプラスチック も含む) 人を感知できな くなります。 センサーが反応 する場合があります。 センサーが反応 する場合があります。 センサーが反応 する場合があります。

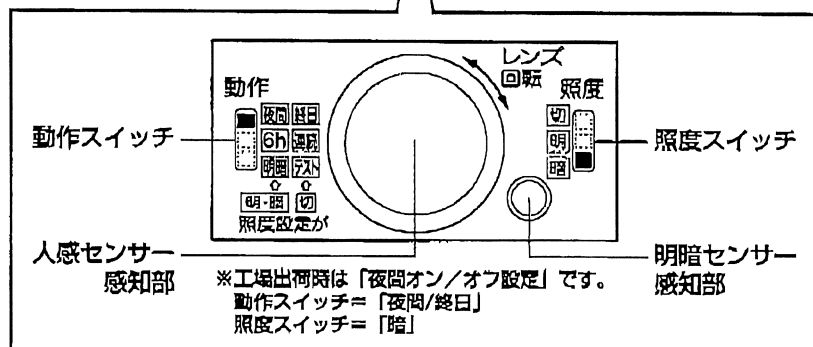
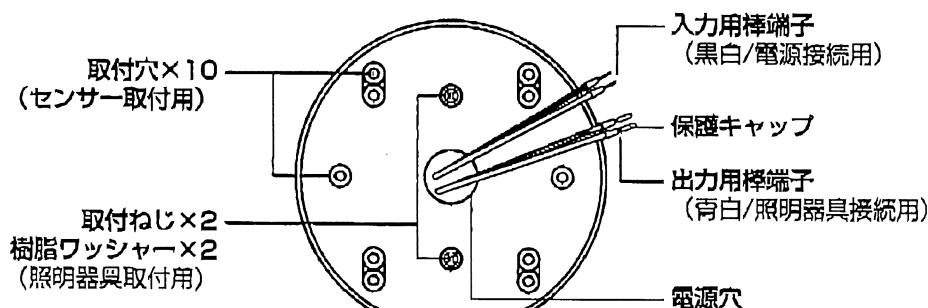
3 配線図



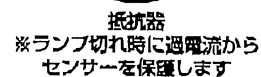
※青白線間を短絡させるとセンサーが破損します。
※抵抗器は必ずご使用ください。ランプ切れ時に発生する過電流により、センサーが破損するおそれがあります。

- 弊社指定の照明器具以外にはご使用できません。
- 必ず壁スイッチを取り付けてください。
- ※誤動作時のリセット、照明の連続点灯ができません。
- 調光器のついている回路ではご使用になれません。
- ※故障および誤動作の原因になります。
- 照明器具からセンサーを取り外す場合は工事店にご依頼ください。
- ※電源工事には資格が必要です。

4 各部の名称



付属品



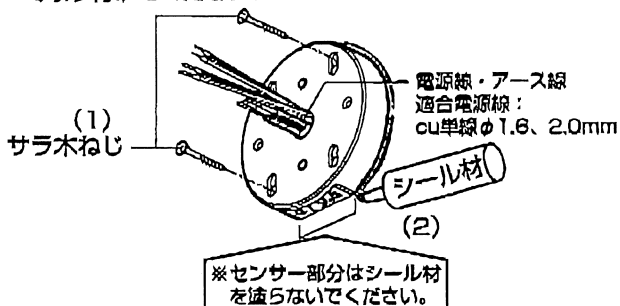
5 器具の取り付け：電気工事士の資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

⚠ 警告 照明器具の取り付けが完了するまでブレーカーを落としてください。
感電、およびセンサー破損のおそれがあります。

⚠ 注意 センサーは一瞬の短絡で破損します。取付時の短絡破損を防ぐため必ず以下をお守りください。
(1) 取り付け工事はブレーカーを落としておこなう。
(2) 電源線は必ず照明器具内で接続する。
(3) 棒端子の保護キャップは、接続する直前まではずさない。

[1] センサーを取り付ける

- 必ず電源を切ってから取り付けてください。
- 取付には方向性があります。図の方向（センサーが下向き）で取り付けてください。



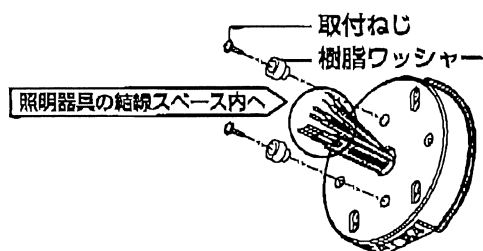
- (1) 電源線・アース線を通して付属のサラ木ねじ2本以上で補強のある壁に確実に固定してください。
※木ねじ2本の場合は図のように斜め方向で取り付けてください。
- (2) センサーの外周に防水シール材などを塗り、壁面とのスキマを埋めて確実に防水処理をしてください。

⚠ 注意 防水処理が不完全の場合、感電、およびセンサー破損のおそれがあります。

[2] 照明器具を取り付ける

詳しくは照明器具の施工・取扱説明書に従ってください。
※ここではセンサーへの取付方法について説明します。

- (1) センサーに付いている取付ねじと樹脂ワッシャーで照明器具を固定します。
※木ねじを使わないでください。センサーが破損します。
- (2) センサーのコードと電源線は全て照明器具の結線スペース内に通します。

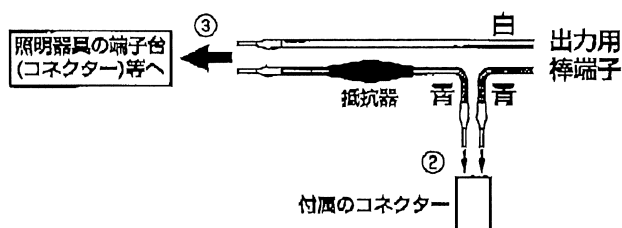


[3] 電源を接続する

- (1) 照明器具と抵抗器を接続してください。
 - ①出力用の棒端子を照明器具内を通してから保護キャップをはずしてください。
- ※保護キャップは、万が一の短絡破損を防止するためのものです。抵抗器・照明器具に接続するまではずさないでください。

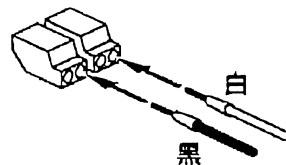


- ②出力用の青色の棒端子と抵抗器の棒端子をコネクタにさし込んでください。
 - ③照明器具の端子台（もしくはコネクタ）に出力用棒端子と抵抗器の棒端子をさし込んで接続してください。
- ※青白間を短絡させるとセンサーが破損します。

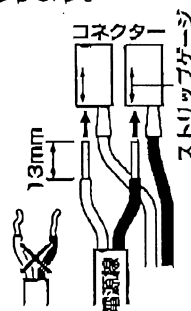


- (2) センサーの入力用棒端子に付属のコネクタを取り付けてください。1本ずつ根元まで挿入した後、コードを軽く引っ張り確実に結線されたか確認してください。

※差し込みが不十分だと発熱するおそれがあります。



- (3) 電源線をコネクタに接続してください。
 - ①素線を傷つけない工具で電源線の被覆を13mmむき出します。
※むき出し長が不適切な場合、接触不良、絶縁不良等による発熱・焼損の危険性があります。
 - ②電線がまっすぐになっているか確認し、コネクタの奥に突き当たるまでさし込みます。
※電線が曲がっていると挿入不足など接触不良の原因となります。また、挿入が不十分な場合、発熱の恐れがあり焼損や火災の原因となります。
 - ③電線を引っ張り、確実に結線されているか確認してください。

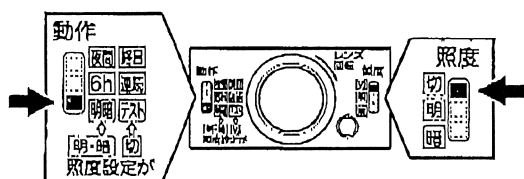


解除方法

コネクタを
ねじる
電源線を
引き抜く
再結線の際は傷ついた電線を切り捨て、新しくむき出してください。

[4] 点灯のテストをする（周囲が明るくてもテストできます）

(1) スイッチを図の設定にしてください。

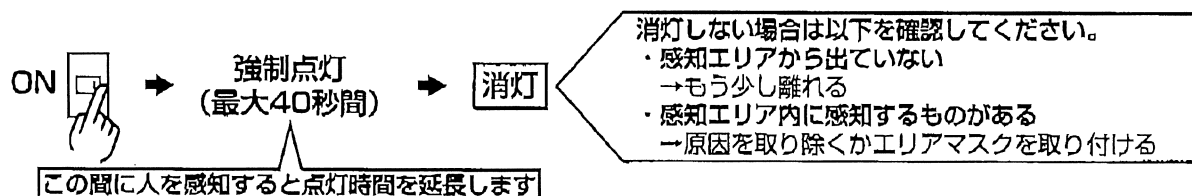


ご注意

「6hタイマー」「明暗」設定で明暗センサーのテストをおこなうとタイマーがスタートし消灯しなくなります。コー壁スイッチを切るか、「動作スイッチ」または「照度スイッチ」のポジションを変えると消灯します。

(2) 電源を入れ、消灯するまで感知エリアの外に出てください。

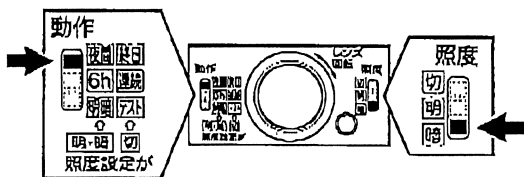
(センサーからの距離は4mが目安です。スペースが無い場合は物陰に隠れてください)



(3) 照明が消灯したら感知エリアに入り、点灯するか確認してください。

(感知エリアに入ると照明が点灯し、エリアを出ると約5秒後に消灯します)

[5] 動作スイッチを「夜間」に、照度スイッチを「暗」に戻す （「切」のまま使用すると周囲が明るくても点灯します）



図の設定は「夜間オン/オフ設定」です。
他の設定にしたい場合は
5 センサーのはたらき
を参照して設定してください。

6 センサーのはたらき：動作設定スイッチで6つの動作から選べます。

壁スイッチは通常はONのままご使用ください。壁スイッチをONにした直後は強制点灯します。（停電復帰後や誤動作をリセットするために電源を入れ直した場合にも同様です）

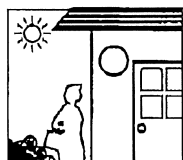
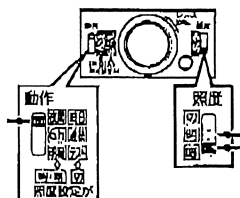


強制点灯
(最大40秒間)

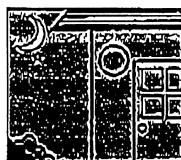
消灯と同時に
センサーが
正常に作動

この間に人を感知すると点灯時間を延長します

夜間オン/オフ設定



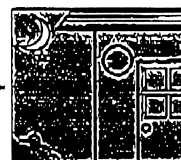
周囲が明るい間は人が近づいても点灯しません。



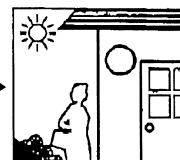
暗くなっても照明は消灯したままで人感センサーが待機。



人が近づくと点灯。

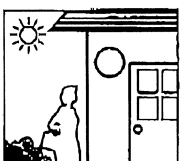
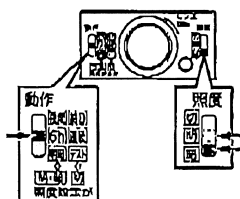


人がいなくなると設定時間後に消灯。

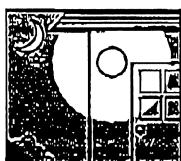


明るくなると人が近づいても点灯しません。

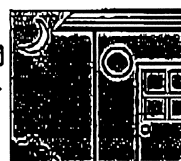
6hタイマー設定



周囲が明るい間は人が近づいても点灯しません。



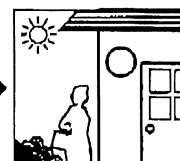
暗くなると点灯しタイマーがスタート、タイマー中は人感センサーは働かず、ずっと点灯し続けます。
※タイマー中は周囲が明るくなっても消灯しません。



タイマーが終了すると消灯し、人感センサーが待機。

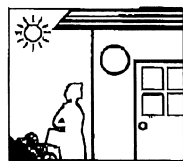
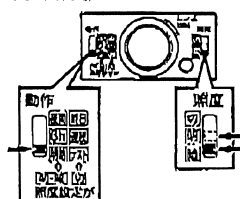


人が近づくと点灯し、いなくなってから約1分後に消灯。

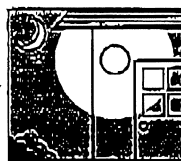


明るくなると人が近づいても点灯しません。

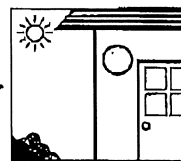
明暗設定



周囲が明るい間は点灯しません。



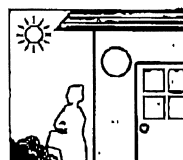
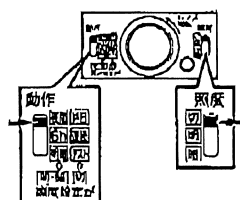
暗くなると点灯。



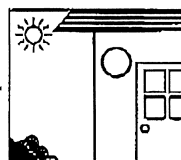
周囲が明るくなると消灯。

※明暗設定では点灯開始後、一定時間ごとに一瞬消灯して周囲の明るさを確認します。

終日オン/オフ設定



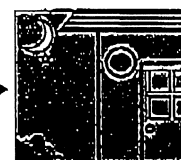
周囲が明るくても人が近づくと点灯します。



人がいなくなると約1分後に消灯。

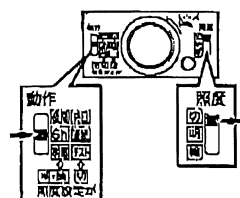


人が近づくと点灯。



人がいなくなると約1分後に消灯。

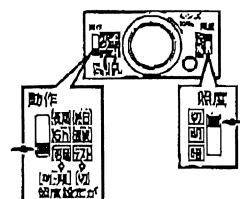
連続点灯設定



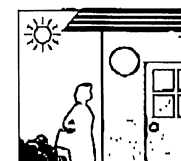
照明の点灯/消灯は壁スイッチでおこなってください



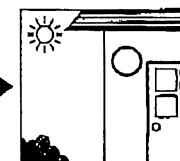
テスト設定



周囲の明るさに関係なく、昼間でも人を感知すると点灯し、感知なくなると5秒後に消灯します。



人が近づくと点灯。

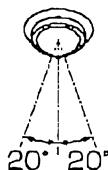


人がいなくなると5秒後に消灯。

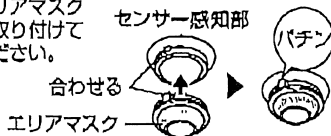
7 感知エリア

[1] 感知エリア図

感知部はすべての方向に20°動きます。感知させたい方向に向けてください。



感知エリアを狭くしたい場合はエリアマスクを取り付けてください。



感知エリア (取付高1.8mの場合)

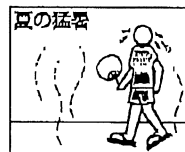
	感知部を真下に向けた場合	左に20°動かしした場合	前に20°動かしした場合	壁側に20°動かしした場合
エリアマスク無し				
エリアマスク有り				

- * 感知エリア図はおおよその目安です。(周囲環境、侵入方向、服装などにより変化します)
- * 図は代表的なエリア図です。感知部はすべての方向に最大20°動きますので、動かす方向や角度によってエリア図は変化します。
- * 取付高1.8m~3mの感知エリアは変わりません。3m以上の取付高では感知しなくなります。

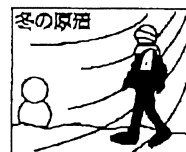
ご注意

人感センサーは温度差を感知して作動します。

- (1) 以下の場合センサーが作動しない、または作動しにくくなることがあります。
- ① 周囲温度と体温 (着衣の温度) の差が4℃以内になった場合→下図参照
 - ② 感知エリア内であっても、人が静止している間は点灯しません。
 - ③ 感知エリア内に人がいても、動きが少なくなると照明が消灯してしまうことがあります。体を動かすと再度点灯します。



夏の猛暑



冬の原宿
肌の露出が少なく
外気温との差がない

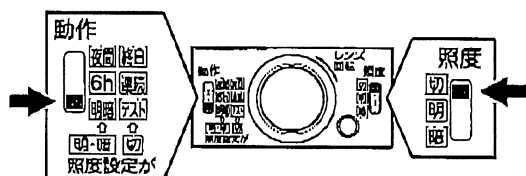
- (2) 以下の場合にも作動することがあります。

- ① 人以外の熱源 (ペットや車など) が動いた場合
- ② 近くで車や通行人などの往来がある場合
- ③ 無線などによる電波障害が発生した場合

[2] 感知エリアの確認方法 (周囲が明るくても確認できます)

※電源 (壁スイッチ) を入れると約40秒間の強制点灯になります (この間に人を感知すると点灯時間を延長します)。
※強制点灯終了後にエリアの確認ができます。

- (1) 設定スイッチを下図の設定「テスト設定」にしてください。



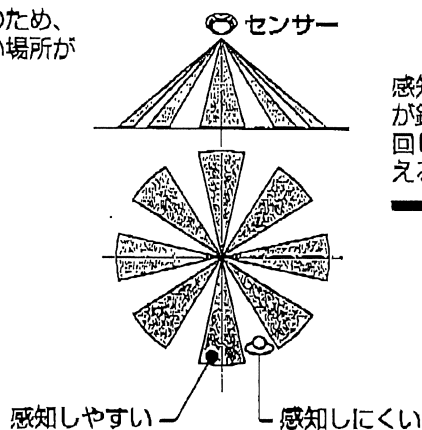
- (2) 感知エリアを出てください。感知エリアを出ると約5秒後に消灯します。

- (3) センサー周辺を歩いてください。感知エリアが広すぎる場合にはエリアマスクを取り付けてください。

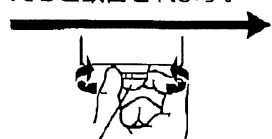
- (4) 確認後は、任意の設定に戻してください。

[3] 感知エリアの微調整 (感度が鈍いと感じたとき)

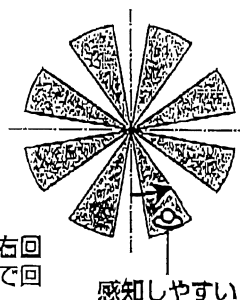
感知エリアは感知軸の集合のため、感知しやすい場所とにくい場所があります。(図はイメージ)



感知させたい場所の感度が鈍いときは、感知部を回して感知軸の位置を変えると改善されます。



センサー感知部
※工場出荷時は右回りいっぱいまで回した状態です。



8 故障かな？と思ったら

	現象	原因	処置
点灯しない	暗くなってもまったく点灯しない	壁スイッチがOFFになっている 照度スイッチで設定した明るさより周囲が明るい 明暗センサー感知部に外部から光があたっている	壁スイッチをONにしてください。 点灯照度スイッチが「暗」の場合は「明」にしてください。 原因を取り除いてください。
	暗くなっても人を感知しない	感知エリアが適切ではない 人感センサー感知部が汚れている センサーと人との間に障害物がある (透明なガラスやプラスチックも障害物となります)	感知部を拭いてください。 感知部を拭いてください。 障害物を取り除いてください。
	感知エリアが狭くなった／感度が鈍くなった	夏の猛暑や冬の冷気により周囲温度と体温（着衣の温度）が著しく近くなった 人感センサー感知部に汚れや水滴が付着している 気象条件によりセンサー内部に結露が発生した	故障ではありません。そのままご使用ください。 →平常温度になれば正常に作動します。 柔らかい布で汚れや水滴をふきとってください。 故障ではありません。そのままご使用ください。 →乾燥した状態に戻ると正常に作動します。
	人がいるのに消灯してしまう	人が静止していたり動きが少ない (人感センサーは熱の動きを感知して作動するため、動きが少なくなると感知できなくなり照明が消灯してしまうことがあります)	体を動かしてください。
	一瞬、消灯することがある	「明暗設定」の場合、消灯して周囲の明るさを確認しています（点灯開始後、4時間30分ごとに1秒間に消灯を2回、その後は明るくなるまで30分ごとに1秒間消灯します）。正常動作ですので、そのままご使用ください。	
消灯しない（不必要に点灯する）	昼も夜と同じ動作で点灯する	「テスト設定」になっている	設定を変更してください。⇒ 6 センサーのはたらき 参照
		「終日オン/オフ設定」になっている	
		照度スイッチで設定した明るさより周囲が暗い	照度スイッチを「暗」にしてください。
		周囲が一日中暗い（センサーが一日中夜と判断している）	照度スイッチが「明」の場合は「暗」にしてください。 照度スイッチが「暗」の場合はセンサーに向かない環境です。そのままご使用になるか、「連続点灯設定」にしてセンサー機能をオフにしてください。 ⇒ 6 センサーのはたらき 参照
	夜、人がいないのに点灯することがある	明暗センサー感知部が何かの影になり部分的に暗くなっている	影の原因を取り除いてください。
		昼間、明暗センサー感知部が一時的に暗くなった ・「6hタイマー設定」の場合は、最大6時間点灯します ・「明暗設定」の場合は、最大4.5時間点灯します	周囲が明るい場合は、壁スイッチを5秒以上OFFにしてから再度ONにしてください。 →約40秒間強制点灯したのち消灯します。 ※周囲が暗い場合は設定した動作で再スタートします。
		感知エリア内に人以外の熱源がある (ペット、空調機等の熱源、風でよく揺れる樹木など) (外気の急激な温度変化でも作動することがあります)	熱源を取り除くかエアーマスクを取り付けてください。
	点灯したまま消灯しない	車や歩行人が感知エリアに入っている ・電源（壁スイッチ）を入れた直後 ・停電が復旧した直後（約40秒間強制点灯になります）	エアーマスクを取り付けてください。 約40秒後に消灯します。
		「連続点灯設定」になっている	設定を変更してください。⇒ 6 センサーのはたらき 参照
		「6hタイマー設定」の6hのタイマー中である (昼間でも周囲が暗くなるとタイマーがスタートし、タイマー終了まで点灯し続けます)	周囲が明るい場合は、壁スイッチを5秒以上OFFにしてから再度ONにしてください。→約40秒間、強制点灯したのち消灯します。 ※周囲が暗い場合はこの操作をしないでください。タイマーが再スタートします。
		「明暗設定」の場合、一定時間ごとに周囲の明るさを確認して消灯しますが、明け方近くに壁スイッチを入れたり、停電があったりすると消灯が遅くなることがあります。	周囲が明るい場合は、壁スイッチを5秒以上OFFにしてから再度ONにしてください。→約40秒間、強制点灯したのち消灯します。 ※周囲が暗い場合はこの操作をしないでください。消灯しません。
		感知エリア内に空調機や換気扇の出口など、継続的に温度変化を生じさせるものがある ・電源（壁スイッチ）を入れた直後 ・停電が復旧した直後 (最大40秒間強制点灯になりますが、この間に人や熱源を感知すると点灯を延長します)	原因を取り除くかエアーマスクを取り付けてください。 感知エリアから出て他に熱源がないか確認してください。 →感知しなくなると約1分後に消灯します。
6hタイマー設定の不具合	6hタイマーにならない (壁スイッチを入れた後の1回だけ6hタイマーになるが、その後はずっとオン/オフで点灯する)	明暗センサー感知部の汚れがひどい（センサーが常に夜と判断している） 周囲が一日中暗い（センサーが常に夜と判断している）	柔らかい布で感知部の汚れを拭きとってください。 照度スイッチが「明」の場合は「暗」にしてください。 照度スイッチが「暗」の場合はセンサーに向かない環境です。そのままご使用になるか、「連続点灯設定」にしてセンサー機能をオフにしてください。 ⇒ 6 センサーのはたらき 参照
	6hタイマー終了時間になっても消灯しない	6hタイマーが再スタートした (タイマー動作中に以下のいずれかがあった) ・壁スイッチを一旦、OFFにした ・5秒以上の停電があった ・照度スイッチのポジションを変えた →再スタートから6時間後に消灯します。 ※タイマー中は周囲が明るくなくても消灯しません。	周囲が明るい場合は、壁スイッチを5秒以上OFFにしてから再度ONにしてください。 →40秒間、強制点灯したのち消灯します。 ※周囲が暗い場合は、この操作をしないでください。タイマーが再スタートします。 すぐに消灯させたい場合は動作設定を変えて「夜間オン/オフ設定」にしてください。 ⇒ 6 センサーのはたらき 参照

上記の処置後も現象が続く場合は、壁スイッチを一旦OFFにし、5秒以上経ってからONにしてください。

それでもなお正常に作動しない場合は、電源を切り販売店にご連絡下さい。

9 保守・点検・その他の留意点

[1] お手入れについて

- (1) 器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
 - * 汚れがひどい場合は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤分が残らないように水で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
 - * 木材、紙、布などは水拭きせずに、柔らかい布またははたきで、こまめにほこりを落としてください。
 - * スプレー式洗剤などを直接器具にかけると火災の原因になります。必ず布に含ませてご使用ください。
 - * シンナー・ベンジン等のご使用は避けください。器具が変色・変形する場合があります。
- (2) 正常に使用していただくために、定期的に清掃をおこなってください。

[2] その他の留意点

- (1) 揮発性物質および殺虫剤等を器具にかけないでください。
- (2) 長期間ご使用にならない場合は次のような保管環境を守りください。
 - * 直射日光を避けて0～35℃の温度範囲で保管してください。
 - * ほこりの多い場所での保管は避けてください。
 - * 35～85%の湿度範囲で保管してください。
- (3) 廃却の際、工具を使わずに取りはずしできる部品（カバー、ガラスグローブ等）は分別して各自治体のルールにしたがって廃却してください。

[3] 器具の寿命について

△ 注意

設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検、交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JIS C 8105-1 解説による）

※周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

●1年に1回は「安全チェックシート」により、自主点検してください。

●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。

●点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

「安全チェックシート」は弊社ホームページ

(<https://www.odelic.co.jp>) で紹介しています。

10 仕様

定格電圧	AC100V
周波数	50/60Hz共用
消費電力	0.2W

- ON-OFF型人感センサー
- 防雨形
- 壁面取付専用
- LED照明器具専用
- 明暗センサー内蔵
- 調光器使用不可

11 保証とアフターサービス

保証について 保証の内容は下記のとおりとさせていただきます。

保証期間

保証期間は、商品お買いあげ日（お引き渡し日）より1年間です。

電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。

※保証の例外

24時間連続使用など1日20時間以上の長時間の使用の場合は上記の半分の期間とします。

保証内容

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

保証の免責事項

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

1. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
2. お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
4. 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷
5. 施工上の不備に起因する故障や不具合
6. 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
7. 日本国内以外での使用による故障および損傷

アフターサービスについて

修理を依頼されるとき

1. 保証期間中は

万一故障がおきた場合は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。

2. 保証期間を過ぎているときは

お買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品（同等機能を有する代替品を含む）です。

お問い合わせ・ご相談は **カスタマーサービス 03-3332-1123** へご連絡ください。

オーデリック株式会社 〒168-0081 東京都杉並区宮前1-17-5